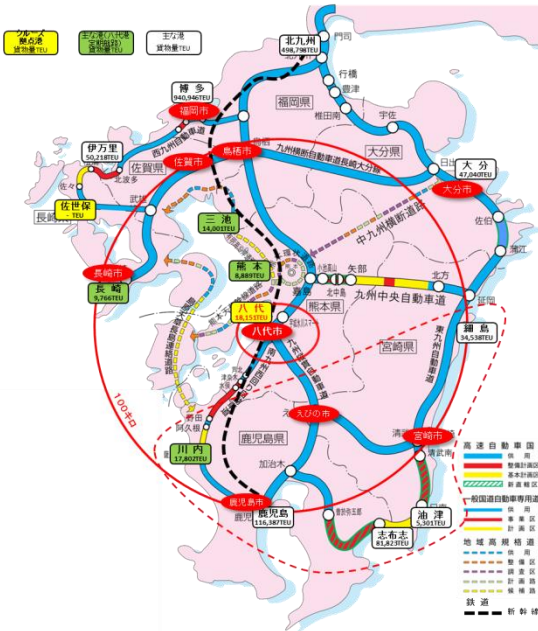


やつしろ物流拠点構想 概要

●八代地域の特性・ポテンシャル



交

- 九州の中央に位置し、高速道路や鉄道網など高速交通網の結節点・要衝
※九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道、九州新幹線、鹿児島本線等の存在

港

- 県内最大の国際貿易港である八代港の存在
県内唯一の国際クルーズ拠点(全国で6港湾)

産

- 県下有数の工業都市として発展してきた産業集積

農

- 広大な優良農地や施設園芸ハウス、豊かな森林などの豊富な農林水産資源
「くまもと県南フードバレー構想」の推進

魅

- 魅力ある観光資源と伝統文化
※松浜軒や日奈久温泉などの観光資源とユネスコ無形文化遺産である八代妙見祭などの伝統文化

●構想策定の趣旨及び基本的な考え方

- 八代地域の特性、ポテンシャルを最大限に活かし、南九州の物流拠点を狙って、取組みの方向性や具体的な取組み例などを示すもの。
- この方向性を関係機関等と共有し、本県と八代市をはじめとする県南地域の自治体や民間団体の動きを踏まえ、「くまもと県南フードバレー構想」等との整合を図りながら取組みを進めていくことを基本的な考え方とする。

●構想が目指す「物流拠点」のイメージ

九州各地の生産拠点を結ぶハブ機能を持たせ、成長著しいアジアをはじめ世界と熊本をつなぎ、多くのモノや人が行き交う、活気あふれる九州のゲートウェイ(※1)を目指す

●取組みの方向性

- モノを集め、販路を拡大するための多様な取組みの展開
- 国際貿易港を中心とした物流拠点を支えるソフトインフラ(※2)の充実
- フードバレー構想や国際クルーズ拠点港の好機等を最大限に活かす民間投資等の誘発

●具体的な取組み例

① 企業の誘致と育成

- 物流関連企業の誘致・集積
 - 物流、生産、加工、保管等様々な関連企業の誘致
 - 地域未来投資促進法を活用した施設・設備投資を促進するための環境整備
 - 企業の物流拠点となる用地整備の可能性調査 など
- 地場企業の海外展開等支援
 - 海外マーケットで売れる商品改良(ブラッシュアップ)や経営・技術面、供給力の充実等の支援
 - 海外展開をリードする企業の育成 など

② 航路及び販路の拡大

- 国際コンテナ定期航路の誘致等
 - 中国・台湾等をターゲットにした新規の航路誘致活動及びコンテナ貨物取扱量の増加
 - 特色ある貨物を含む南九州における集貨の拡大 など
- 販路の開拓等
 - 中国、香港、台湾などアジアマーケットへの海外展開支援
 - 好調な木材輸出の維持・拡大、製材への高付加価値化
 - 「地域商社KASSE」との協働による県南産品の県内外への販路拡大 など

③ 輸送・輸出入体制の強化と効率化

- 体制の強化等に必要な環境の整備
 - 輸出入等に必要な設備等にかかる投資環境整備
 - 効率的な輸送体制(モーダルシフト(※3))の構築
 - 貿易ノウハウ等を提供・支援できる地元商社及びフォワーダー(貨物利用運送事業者)等の発掘や育成 など
- 国等関係機関への働きかけ
 - 円滑な物流機能に必要なCIQ(※4)機能の充実 など

④ ソフトインフラの充実 ~物流に関する人材育成・確保~

- 人材育成・教育機関と連携した物流関連のカリキュラム等の充実やインターシップの取組み
- 国際物流に強い人材の確保や物流拠点を支える外国人の活躍に向けた方策の検討
- 大型免許などトラックドライバーに必要な免許取得支援
- 専門家派遣による女性が働きやすい環境整備(働き方見直し、トレーニングルーム整備等)
- 退職者(高齢者)、転職者の活躍支援(知識・技術習得支援、UIターンなど)
- ICT(※5)やIoT(※6)の活用による業務の省力化・自動化に向けた人材育成 など

⑤ インフラ整備 ~八代港の物流機能の強化やアクセス道路の整備~

- 大型ガントリークレーン(※7)の整備やコンテナヤード(※8)の移設拡充など、核となる八代港の物流機能の向上
- 南九州西回り自動車道や九州中央自動車道、都市計画道路南部幹線等の幹線道路の整備促進 など

⑥ クルーズ船寄港増に伴う関連施策

- 魅力ある観光資源等を活かした旅行商品の造成等
 - 地元消費型のクルーズ旅行商品の造成
 - やつしろ(熊本)プロモーションの展開
- クルーズ船内における農林水産物をはじめとする県産品の活用
- クルーズ船客の動向調査や商業・観光施設等の立地検討 など

⑧ 期待される民間投資等

- 冷蔵倉庫やCFS(※9)など物流関連施設の整備や物流関連企業の進出
- RCL社(※10)による旅客ターミナル及び集客施設の整備
- クルーズ船の寄港増に伴う関連投資の誘発
 - 商業施設や観光農園などの観光施設等の立地
 - 天草地域への海上輸送 など

⑦ 県南フードバレー構想関連施策との連携

- これまでの取組み成果を発展させた商品開発、販路開拓、ネットワーク形成等の推進
 - 700を超える協議会会員による活動や都市圏ストアなど25か所での常設販売
 - 6次産業化・農商工連携による地域内生産物の高付加価値化
 - フードバレーアグリビジネスセンターを活用した高付加価値に関する試験研究や事業者と食品関連企業などとの新たな結び付け など

※1 ゲートウェイ: 出入口、玄関の意
 ※2 ソフトインフラ: 制度や仕組み、人材等といったソフト面のインフラ
 ※3 モーダルシフト: トラックによる幹線貨物輸送を大量輸送が可能な鉄道または海運に転換すること
 ※4 CIQ: 税(Customs)、出入国管理(Immigration)、検疫(Quarantine)を包括した略称
 ※5 ICT: 「Information and Communication Technology」の略。情報通信技術
 ※6 IoT: 「Internet of Things」の略。様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み
 ※7 ガントリークレーン: 橋桁の両端に2本の車輪を設け地上のレール上を走行する構造の、主にコンテナの積み卸しに利用されるクレーン
 ※8 コンテナヤード: コンテナを船から積み卸したり、トラックに積み卸したり保管したりする場所
 ※9 CFS: 「Container Freight Station」の略。貨物をコンテナに詰め、又はコンテナから取り出す作業を行う施設
 ※10 RCL社: ロイヤル・カリビアン・クルーズ社: 米国の世界第2位のクルーズ船社